

# いなづま

題字 小寺寛一

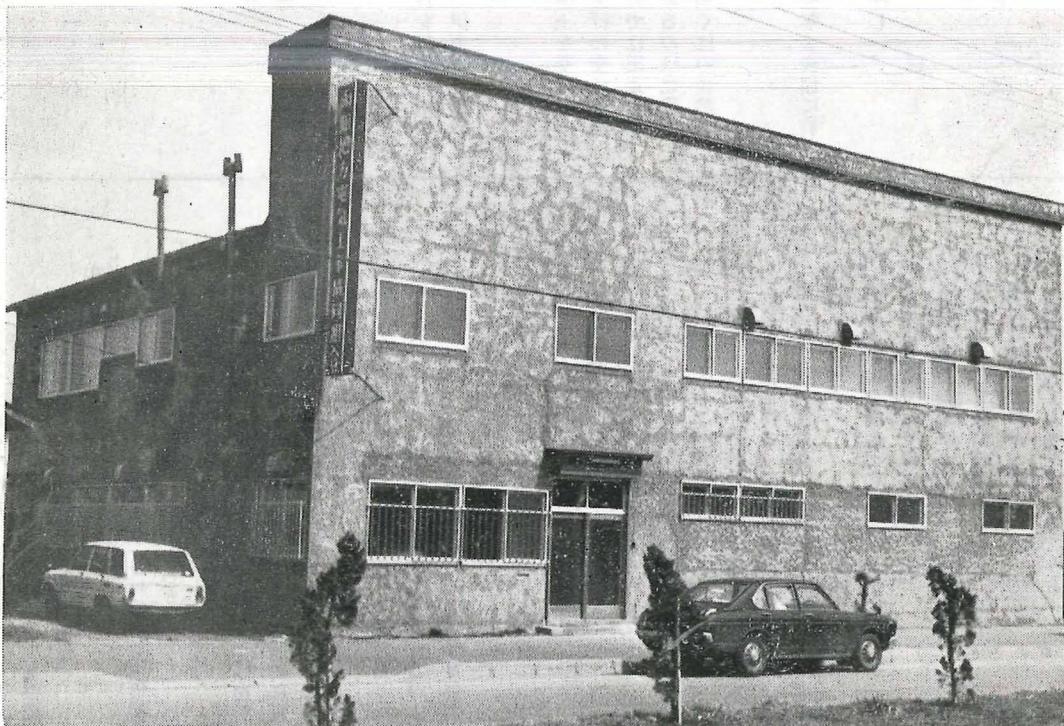
発行所 函館地方電気工事協同組合

編集総務部

住所 函館市新川町31番11号

印刷所 有限会社 豊国堂印刷

## —祝組合事務所落成—



### 組合事務所竣工を 契機に

理事長 大倉伸夫

この度皆様の御協力のお蔭で事務所の移転が完了致しましたことは御同慶の至りにたえません。

そもそも、協同組合とは、私共の乏しい力を結集して強大な力となし、これをもって我々の経済を豊かにし、協同の和をもって民主的な事業を営むのがその目的であります。しかし現実に最近の様相は、總需要抑制更には、労務費の高騰等、我々電気工事業界として、工事費は低くおさえられ且、支出は増大するとゆう不当な重圧を押しつけられている現状であります。これを防せぎ且排除していくためには、どうしてもお互いの協力、相互扶助の精神である協同組合の組織を活用していく以外に道はないのであります。

当協同組合は、その構成員たる組合員の規模の大小にかゝわらず、平等な権利、義務を有しており、組合よりうける恩恵も又、これを果たす義務についても平等であります。

かかる意味におきまして、新事務所に移転後における組合の存立の意義も、これを組合員の皆様がいかに利用するかにかゝつて、せつかく皆様の力で出来上った事務所も、利用なくしては『仮つくつて入れず』の結果あたら宝の持ちぐされに終るでしょう。

私共理事者は、この事務所移転を機に、現在行っている組合の諸事業を拡大強化し、大いに利用してもらう事を考えて居りますが、組合員の皆様個々が協同組合の本質を理解されまして、夫々御協力の上、益々御奮斗下さる事を期待致して居ります。

# 役員会だより

【第32号】 (2)

昭和50年4月20日

## 第九回役員会

五十一年・二八

### 一、慶弔報告

長尾電気社長病氣入院

品沢

丸和

# 統一地方選挙！

## 当組合関係、新議員誕生

### 北海道議会議員当選

共栄電気工業株式会社

前社長 松崎義雄氏



た松崎氏は長期間に亘る選挙戦の結果、桧山管内において、新人乍らよく敢斗し、同地区の対立候補を斥けて、輝く栄冠をかちとりました。



去る四月十三日行われた道議員選挙に無所属で出馬して、新人乍らよく敢斗し、同地区の対立候補を斥けて、輝く栄冠をかちとりました。

### 尻岸内町議会議員当選

坪電器商会工事部

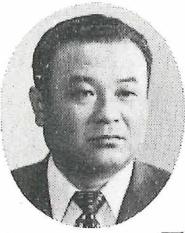
代表坪光雄氏

四月二十七日の地方選挙でかねてより地元尻岸内町より出馬して、弱冠三十二才晴れて町議会議員に当選されました。

### 函館市議会議員当選

四月二十七日の地方選挙でかねてより地元尻岸内町より出馬して、弱冠三十二才晴れて町議会議員に当選されました。

湯浅重光氏



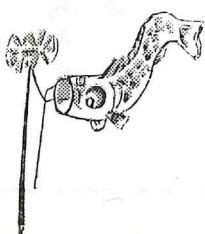
旧亀田市との合併後の初の選挙とあって、激戦をついたえらし見事當選されました。

当電気工事組合関係として、右記の三氏が新人乍らそれぞれ激烈を極めた選挙戦を戦い抜き、見事に栄冠を得たことは、当組合として慶賀にたえない次第であります。

ともあれ三氏の識見、手腕、行動力などに加へ、松崎氏にあつては桧山管内組合員と、北電関係者、函館電設業会関係者等のおしみない応援があり、北電の湯浅氏に対しても、北電はもとより市内当組合員の熱烈なる協力支援も寄与したものと、関係各位に対し深謝する次第です。新議員の三氏に対し、これから政治活動に大いなる期待をかけるものであります。

# 組合行事

1月6日	御用始め
1月8日	組合新事務所改造着手 いなづま編集会議
10日	総務委員会 八雲支部定例会議
14日	訓練校主任会議 八雲支部定例会議（森地区）
16日	窓口業務打合会
24日	八雲支部定例会議（瀬棚・今金地区）
25日	訓練校新年会
27日	連合会役員会
28日	第八回役員会
29日	組合新年宴会
2月1日	中渡島支部定例会議
3日	東支部役員会
5日	東支部定例会議
6日	技能尊重協議会（訓練センター）
7日	市内支部長会議
7日	訓練校主任会議
10日	訓練校技能照査（学科）
13日	全般（実技）
13日	税務講習会（個人・白色申告者対象）
14日	技能五輪北海道大会（錢函訓練センター）
14日	北支部定例会議
17日	東支部定例会議
2月12日	中支部定例会議
13日	技能尊重協議会
14日	北電安全セミナー（北電四一、四二会議室）
14日	訓練校会計監査（北海道労働部職業訓練課）
17日	建設委員会 訓練校主任会議
3月4日	第九回役員会
3月4日	福島支部定例会議
3月4日	福島支部安全バトロール
3月4日	連合会役員会、工業組合総代会
3月5日	訓練校修学旅行（札幌市）
3月7日	八雲支部（瀬棚地区）電気主任・交通安全講習会
3月7日	東支部定例会議
3月11日	北支部定例会議
3月13日	対北電窓口業務打合会議
3月13日	福島支部安全大会
3月17日	いなづま編集会議
3月19日	現場主任者講習会（於北電四一、四二会議室）
3月25日	会館検定引渡し
3月25日	貸付委員会
2928日	事務所引越
26日	会館検定引渡し
17日	貸付委員会
18日	中渡島支部研修旅行（弘前市）
19日	福島支部定例会議
20日	八雲支部定例会議
20日	八雲支部定例会議（今金地区）
21日	福島支部安全バトロール
21日	連合会役員会、工業組合総代会
24日	福島支部定例会議
26日	連合会役員会、工業組合総代会
17日	消防設備士講習会（公会堂）
18日	中渡島支部研修旅行（弘前市）
19日	福島支部定例会議
20日	八雲支部定例会議
20日	八雲支部定例会議（今金地区）
21日	福島支部安全バトロール
21日	連合会役員会、工業組合総代会
24日	福島支部定例会議
26日	連合会役員会、工業組合総代会
17日	消防設備士講習会（公会堂）



## 【電気保安功労者受彰】

(電気工事業者營業所)

日興電気株式会社

日計文雄氏



(個人)

沢谷電気商会

沢谷長太郎氏



去る一月三十一日、札幌に於いて、札幌通産局長より、当組合の右記二氏が栄の表彰をうけられました。これは永年、電気安全について、保守保安の運営並に教育が充分行われており、他の模範として認められた事業所及び個人が対象となるもので、当組合としても本年は二人が受彰して面目を施しました。

◎ ◎ ◎ ◎ ◎ ◎

## 消防法改正で講習が

## 義務づけられました

消防設備士の業務および  
講習に関する事項

## 1 消防設備士の業務独占

消防用設備等の工事又は整備のうち、政令で定めることは、消防設備士でなければならないこととされた。(法第十七条五)

注 従来の規定における(他人の求めに応じ、報酬を得て行なわれるものに限る)という条件がはずされたことによるものである。

「政令で定めるもの」とは、従来どおり、消防設備士でなければ工事や整備のできない消防用設備等の種類をさすものであるが、整備については、屋内消火栓設備又は屋外消火栓設備のホース又はノズル・ヒューズ類・ネジ類等部品の交換、消火栓箱・ホース格納箱の補修、その他これに類する軽微なもの

は消防設備士の資格を有しなくても行なうことができることとされた。(令第三十六条の二第二項、則第三十三条の二)

## 2 消防設備士の講習

(1) 消防設備士は、自治省令で定めるところにより都道府県知事が行なう消防用設備等の工事又は整備に関する講習を、受けなければならぬこととされた。(法第十七条八の二)

「自治省令で定めるところ」とは、次の事項をいふ。  
(1)免状の受けた日から二年以内に講習を受けなければならない。  
ただし、昭和四十九年六月三十日までに免状の

交付を受けたものは三年以内とする(則第三十条の十五第一項、附則第二項)

(2)講習を受けた日から五年以内に講習を受けなければならない。当該講習を受けた日以降においても同様とする。(同条第二項)

(3)講習の科目、講習時間その他の講習の実施に必要な細目は、消防庁長官が定める。(同条第三項)

講習科目及び所要時間は、

(ア)消防用設備等関係法令(二時間)

(イ)消防用設備工事又は整備(四時間以上)

(ウ)防火に関する法令等(一時間以上)とされ、日時<sup>火</sup>所等は各都道府県知事があらかじめ公示する。

注 このことについては、消防庁告示第二号(昭和四十九年七月一日)によって示されているので、参考とされたい。

## 3 その他

(1) 消防設備士関係の手数料を改正されるとともに講習手数料が新たに定められた。(法第十七条の七)

注 講習手数料は二千円と定められた。  
(2) 免状記載事項から現住所が除外された。  
以上の消防設備士に関する改正規定の施行期日は昭和四十九年七月一日である。

「訓練校修学旅行」

「札幌え」

東海道五十三次の由来

平沼智子

隨筆

筆

三月五日～七日、当組合訓練校の修学旅行が実施され、平井副校長の引率のもとに訓練生六名、事務局一

名、計八名が札幌市の北電研究所、河村電器産業㈱の工場及び札幌ビル会社㈱の第二工場を見学して来ました。

大変有意義な旅行で、明年以降も実施する予定ですので、本年以上の参加を望みます。

彼岸もすぎると一日増に太陽の温みが感じられる。春がかけ足でやって来る事が肌で感じられる。

今年は不況と云いながら海洋博の宣伝もにぎやかだし、レジャー旅行の民族移動も結構行なわれる事と思われる。ついこの間、「東海道五十三次」の由来を書いた文を読んだので、旅行好きの方々の参考にとベンをとりました。

「五十三」と云う数字の由来は仏教から出ています。「華厳經」と云うお経の中に「善財童子」の話が出来ます。この善財童子は「文殊菩薩」のみちびきによつて、五十三人の善知識・先徳の人々に遇い最後に「普賢菩薩」に遇つて十大願を授かって悟りを得たと云われています。五十三次はこの五十三人の善知識の故に因んだものです。

江戸日本橋を起点として、五十三の宿場をついで、京都三条大橋が終点です。昔は宿場宿場に泊りを重ねながら、長い苦しい旅であったらうと思います。今は新幹線で三時間で京都ですが、昔の人は宿場毎に先徳に遇つた気持で、ほっとした心で宿場の宿屋に泊つた事でしょう。故吉川英治氏の名作「宮本武蔵」を書くとき、この「善財童子」の話を頭において、武蔵の人間形成の過程に沢庵禪師や、吉野大夫や、本阿弥光悦に遇つて師と仰ぎ、己をみがいたと書いてあります。吾々も新幹線が停車したら、せめて東海道だけはホームで買う本はボルノ雑誌をやめて、まともな本か新聞でも買うようにしたいと思います。PHコーナー担当の方には、新幹線は博多までのびましたから、東京・京都問は昔の五十三次の意味をかみしめてみたらいかがでしょうか。

北電人事異動

(昭和50年2月20日付)

新役職名(新所属)	氏名	旧役職名(旧所属)	備考
道央支店副調査役(特2級)	真田英太郎	函館支店発電課長	
道央支店経理課長	稻場敬一郎	函館支店経理課長	
函館支店経理課長	藤井秀実	企画室副長	
函館支店発電課長	本間昭	工務部発電課課長代理(計画担当)	
資材燃料部副長(資材計画担当)	新崎高良	函館支店経理課資材係長	
営業部サービス課副長	牧野紀夫	函館支店営業課サービス係長	
函館支店発電課工務係長事務取扱	吉田俊雄	函館支店発電課課長代理兼工務係長事務取扱	
函館支店函館営業所業務課長	清水勇	函館支店函館営業所次長	
函館支店函館営業所配電課長	寺田政雄	函館支店函館営業所次長	
道央支店送電課副長	綱島啓策	函館支店送電課送電係長	

新役職名(新所属)	氏 名	旧役職名(旧所属)	備 考
道東支店送電課2級送電所長待遇	荒 定 雄	函館支店 八雲送電所長	
函館支店 総務課副長	須合 尚 武	函館支店 総務課庶務係長	
函館支店 総務課副長	上 村 魁	函館支店 総務課管財係長	
函館支店 用地課副長	羽生 三 郎	函館支店 用地課係長(2等級)	
函館支店 労務課副長	横山 豪	函館支店 労務課勞務係長	
函館支店 労務課副長	村 上 貞 雄	函館支店 労務課安全福祉係長	
函館支店 経理課副長	松 井 貞	函館支店 経理課経理係長	
函館支店 経理課副長	内 匠 清 久	資材燃料部資材課	
函館支店 営業課副長	伊藤 昭 司	函館支店 営業課営業係長	
函館支店 営業課副長	沢 田 拓	道東支店 鉄路営業所業務係長	
函館支店 料金課副長	山 本 富 三	函館支店 料金課料金係長	
函館支店 料金課副長	渡 辺 孝 和	函館支店 料金課調定係長	
函館支店 配電課副長	木 村 富 整	函館支店 配電課配電係長	
函館支店 配電課副長	吉 沢 正 男	函館支店 配電課工事係長	
函館支店 発変電課副長	高 嶋 定 夫	函館支店 発変電課発変電係長	
函館支店 送電課副長	鈴 木 信 夫	道東支店 帯広送電所長	
函館支店 送電課副長	小 野 隆 三	函館支店 送電課通信係長	
函館支店 土木課副長	舛 田 利 夫	函館支店 土木課土木係長	
函館支店 土木課副長	植 木 蕃	函館支店 土木課建築係長	
函館支店 八雲送電所長	川 村 俊 雄	道央支店 倶知安送電所長	
道北支店 雉内変電所長	高 橋 亮	函館支店 福島変電所長	
道央支店 千歳営業所配電係長	沖 本 慎 介	函館支店 配電課	
道東支店 鉄路営業所 業務課料金係長	中 川 隆	函館支店 江差営業所業務係長	
函館支店 用地課係長(3等級)	中 岡 義 文	函館支店 営業課専門職3等級	
函館支店 土木課・係長(3等級)	手 島 静 雄	函館支店 七飯電力所水路係長	
函館支店 函館営業所 業務課 業務係長	高 田 正 敏	函館営業所業務係長	
函館支店 函館営業所 業務課 料金係長	塙 本 賢 吉	函館営業所料金係長	
函館支店 函館営業所 配電課 配電係長	神 田 正 一	函館支店 函館配電所長	
函館支店 函館営業所 配電課 工事係長	上 月 明 雄	函館営業所工事係長	
函館支店 函館営業所 配電課保守第一係長	小 林 健 一	室蘭支店 室蘭配電所長	
函館支店 函館営業所 配電課保守第二係長	正 井 喜 知 郎	函館営業所配電係長	
函館支店 江差営業所業務係長	若 山 英 夫	函館支店 総務課	
函館支店 七飯電力所水路係長	竹 本 渡	室蘭支店 岩清水電力所	
函館支店 函館営業所電業所長待遇	尾 崎 治 夫	函館支店 七飯電業所長	
函館支店 函館営業所電業所長待遇	田 口 正 治	函館支店 白尻電業所長	
函館支店 函館営業所配電課・係長(4等級)	橋 本 信 吉	函館支店 函館配電所管理係長	
〃	田 中 久 美 男	函館支店 函館配電所保守第一係長	
〃	畠 森 重 二	函館支店 函館配電所保守第二係長	
函館支店 八雲営業所保守係長(4等級)	酒 井 芳 二	函館支店 八雲配電所長	
函館支店 福島営業所保守係長(4等級)	鈴 木 鉄 男	函館支店 福島配電所長	
函館支店 江差営業所保守係長(4等級)	石 島 森 三 郎	函館支店 江差配電所長	
函館支店 上磯電業所長	福 島 勇	函館支店 奥尻電業所長	
函館支店 七飯電業所長	近 藤 与 四 郎	函館支店 函館配電所	
函館支店 白尻電業所長	佐 藤 純 一	函館支店 上磯電業所長	

新役職名(新所属)	氏名	旧役職名(旧所属)	備考
函館支店 奥尻電業所長	宮越英三郎	函館支店 大成電業所長	
函館支店 奥尻発電所長	五十嵐哲郎	函館支店 七飯電力所	
函館支店 福島変電所長	金塚美藏	函館支店 七飯電力所保修係主任	
江別発電所 技術課	八木将晴	函館支店 奥尻発電所長	
道東支店 土木課	真野昌剛	函館支店 土木課	
室蘭支店 岩清水電力所	浜谷正一	函館支店 七飯電力所	
函館支店 七飯電力所	斎藤俊郎	室蘭支店 虻田電力所	

(昭和50年2月20日付)

新役職名(新所属)	氏名	旧役職名(旧所属)	備考
函館営業所 配電課 保守第一係主任	竹原喜市	函館配電所	
" " 保守第二係主任	一戸政藏	"	
" " 配電係	佐藤慶三	"	
" "	菊池信	"	
函館営業所 配電課 保守第一係	中村与八	"	
"	森清司	"	
"	仲村栄藏	"	
"	久保正人	"	
"	高尾敷政則	"	
"	河井真吉	"	
"	坂上勝彦	"	
"	村田秀行	"	
"	枝松豊	"	
"	古川利昭	"	
"	白鳥昭彦	"	
函館営業所 配電課 保守第二係	高橋宗男	"	
函館営業所 配電課 保守第二係	田中祐二	函館配電所	
"	甲谷政春	"	
"	三宅正雄	"	
"	大竹保正	"	
"	高八卦正光	"	
"	城地満郎	"	
"	成田喜代勝	"	
"	高谷透	"	
"	大谷博	"	
八雲営業所 保守係	小島一男	八雲配電所	
"	奥山敏明	"	
"	錢谷誠	"	
"	林吉彦	"	
福島営業所 保守係	池田龍夫	福島配電所	
"	対馬孝一	"	
"	永浦清	"	
"	佐藤勉	"	
江差営業所 保守係	西尾将興	江差配電所	
"	大西博	"	
"	木村喜重	"	
"	安達佳春	"	
"	松永幹彦	"	
大成電業所 長	菊地幹郎	八雲営業所 配電係	
江差変電所	倉岡徳三郎	東上磯変電所	

(昭和50年3月3日)

新役職名(新所属)	氏名	旧役職名(旧所属)	備考
函館支店 配電課	柳谷邦久	函館営業所 配電課工事係	

昭和50年4月20日

## い な づ ま

【第32号】 (8)

新役職名(新所属)	氏名	旧役職名(旧所属)	備考
〃	高橋正一	〃	
函館営業所配電課工事係	荒川祐二	八雲営業所配電係	
函館営業所配電課保守第一係	田中彦一	鹿部電業所長	
〃	佐藤英一	知内電業所長	
函館営業所配電課保守第二係	中西義雄	乙部電業所長	
龜田電業所	久保正人	函館営業所配電課保守第一係	
戸井電業所	高谷透	函館営業所配電課保守第二係	
鹿部電業所長	蓮見武一	江差営業所配電係	
八雲営業所配電係	今野幸夫	函館支店配電課	
〃	山崎龍司	戸井電業所	
木古内電業所	白鳥昭彦	函館営業所配電課保守第一係	
知内電業所長	仲村栄蔵	函館営業所配電課保守第一係	
江差営業所配電係	大西博	江差営業所保守係	
江差営業所保守係	河島清宏	木古内電業所	
乙部電業所長	加藤文利	龜田電業所	

新 所 属	氏 名	旧 所 属	備 考
函館支店函館営業所配電課工事係	土田三三男	道東支店釧路営業所	
社長室広報課	杉谷敏夫	函館支店営業課	
工務部中央通信所	玉村治兵衛	函館支店送電課	

(昭和50年4月1日付)

新 所 属	氏 名	旧 所 属	備 考
七飯電力所保修係主任	穴川賢一	発変電課	
総務課	大高清	八雲営業所業務係	
労務課	桜井次郎	福島営業所業務係	
〃	高山有光	江差営業所業務係	
〃	加藤敦子	料金課	
経理課	小池孝史	用地課	
営業課	酒井和喜	函館営業所業務課	業務係
料金課	沢田敬子	労務課	
〃	村本以知朗	〃	
発変電課	田中昭良	函館電力所運転係	
〃	山本昇	七飯電力所保修係	
発変電課	岸庸子	料金課	
送電課	源由美子	営業課	
土木課	二田彰子	送電課	
函館営業所業務課	田中博	八雲営業所業務係	
〃	藤岡久美子	発変電課	
〃	配電課工事係	若山武一	龜田電業所
〃	〃保守第一係	大良一恵	経理課
〃	〃	後藤広司	白尻電業所
〃	〃保守第二係	汐谷勝久	熊石電業所長
〃	〃	溝口寿之	上ノ国電業所
龜田電業所	萩野久夫	福島営業所配電係	
白尻電業所	大谷博	函館営業所配電課保守第二係	
八雲営業所業務係	小川弥寿郎	料金課	

新 所	属 氏 名	旧 所	属 備 考
八 雲 営 業 所 業 務 係	鈴 木 育 生	函 館 資 材 管 理 所	
" 保 守 係	田 村 忠 治	北 桧 山 雷 業 所	
北 桧 山 電 業 所	奥 山 敏 明	八 雲 営 業 所 保 守 係	
"	永 浦 清	福 島 営 業 所 保 守 係	
福 島 営 業 所 配 電 係	対 馬 孝 一	"	
" 保 守 係	成 田 喜 代 勝	函 館 営 業 所 配 電 課 保 守 第 二 係	
" "	枝 松 豊	" "	保 守 第 一 係
江 差 営 業 所 業 務 係	畠 沢 次 也	" " 業 務 課 業 務 係	
上 ノ 国 電 業 所	古 川 利 昭	" " 配 電 課 保 守 第 一 係	
熊 石 電 業 所 長	前 田 稔 俊	北 桧 山 電 業 所	
七 飯 電 力 所 運 転 係	谷 藤 重 徳	七 飯 電 力 所 保 修 係	
" 保 修 係	太 田 春 男	室 蘭 支 店 岩 清 水 電 力 所	
相 沼 内 電 力 所 保 修 係 (江 差 変 電 所 在)	太 田 誠 一	函 館 電 力 所 保 修 係	
相 沼 内 電 力 所 保 修 係	齊 藤 有 二	" 運 転 係	
函 館 電 力 所 運 転 係	伊 藤 実	室 蘭 支 店 右 左 府 電 力 所	
" "	藤 沢 英 三	道 東 支 店 帯 広 變 電 区	
" 保 修 係	奥 山 正 雄	相 沼 内 電 力 所 保 修 係	
" "	物 江 泉	七 飯 電 力 所 運 転 係	
函 館 送 電 所	西 村 雅 幸	江 差 送 電 支 所	
江 差 電 支 所	津 村 君 雄	函 館 送 電 所	
八 雲 送 電 所	畠 山 茂 樹	長 万 部 送 電 支 所	
長 万 部 送 電 支 所	工 藤 昌 男	八 雲 送 電 所	

## アコーナー

「母の訓」—より

## 閨の御慎の事

おんつしみ

当組合員猪股貫一氏の蔵書の中に乃木静子の「母の訓」という小冊子があり、これに関しての原稿を戴いた。静子は陸軍大将乃木希典の夫人で、自分の姪に与えたこの「母のオシエ」は「常の心得」、「閨の御慎の事」、「朝夕の心得」の三部からなる女の心得帳である。今回は紙面の関係で「閨の御慎の事」の本文のみ転載し、これに関しての猪股氏の原稿は次方に廻すことの了解を得た。

## 閨の御慎の事 乃木静子

一、御色氣薄きは情なれば御夫婦の御中睦しからず、終には御家の滅亡とも相成申べく候まま御色氣に充分なるを可と致候。然れども色は乱れ易きものにして愛想をつかさるるは最も多く、御闇中に於ては特に御淑徳を尊び恥を以て色を補ふ事に候。殿より如何に迫り給ふとも自ら進んで商ふ歌妓に等しき猥の御振舞必ずあそばされまじくな候。

一、用事終れば寝所を異にし給ふべし。寝所一つれば、屹度愛想をつかされ申べく候。一、閨中に入るときは必ず、幾年の末までも始ての如く恥かしき面色を忘れ給ふべからず。狎れ恥かしき色面なければ、妾の如くなりて其品格を失ひ、用事済みて必ず殿御の心に嫌気起り度重なるに從ひ、必ず愛想をつかされ申すべく候。一、殿御は何様にても寵愛の増すに従ひて種々なされ、または抉りなどし給ふことあり。斯様の

時、心掛なき女性は興に乗じあらわれもなき大口を開き、或は自ら心を萌して息あらく鳴らし、恥もなき举动をなさる御方もありとか申事に候。従ひて殿御の用事にかかり給ふ時は種々にして曲を尽し充分に仕たく思ひ給ふが常なれども、用終れば見るも嫌になる由と申事にて心に下卑み申候。色は柔くして恥かしき内に味あるものにて恥かしき面色ある程情深くなり申候故に殿御閨入り給ふ時は必ず恥を含みて静かに入り、殿御與に乘じ種々なぶり給ふことありとも荒々しく之を拒むは情を失ふを以て、只々殿御の胸に顔を差入れて恥かしく思ひ給ふべし。

又殿御用事にかかり給ひなば、殿御の胸に顔を確かと差しめて余り動かし給ふべからず、又如何に心地よく耐かね候とも、たわいなき事を云ひ、又は自分より口を吸ひ或は取りはづしたる声など出し給ふべからず。又佳境に入り給ふには殿御より先に又は同時に入り給ふべし。殿御佳境に入り給へば如何に溢るる共耐へて殿御の掛け給ふとき止め給ふべし。

一、閨の用事終れば始末し給ふに紙の音など殿御の耳に入らぬ様心掛けらるべく候。用事終れば殿御の御心色に飽き給ふ時なるを以て、意を用ひて静かに始末し給へば、品よく時に麗しきものにて候。斯様のときは海棠の雨に打たれし譬ひの如くなる可と致候。

一、殿御の御寵愛勝れて屋も房に入れ給ふ事あれども、無気に拍み給ふは情に背き給ふなり、されば房事にても拡増して一倍深く慎み給ひ、如何に心宜しくも褶がけ解きたまふべからず。殿御佳境に入り給へば静かにして廁に至り、始末して其の帰るに腰元に仰せらず自ら御手拭を水に湿して持ち帰り、跪きて顔を背け殿御に差上げ給ふべし。

(この項終り)

あかるい明日を技術でひらく

全道随一の照明設備センター  
電設機器資材の総合電機卸

明日をひらく

電設資材の総合卸商社

**東芝電材株式会社**

**函館営業所**

040 函館市大繩町二十二番十四号  
電話 函館 (41) 二二四一

新しい住まいづくり

**松下电工株式会社**  
**函館営業所**

函館市昭和町三九六の一  
電話 函館 (42) 五八二一

**総合卸商**

**隆東電機株式会社**

函館市西桔梗町五八九一〇八  
電話 (49) 六二二六

**電気工事材料**

**石垣電材株式会社**

本社 函館市千才町五の十  
電話 (代) (23) 六二一一  
照明 函館市千才町十九の三  
電話 (代) (22) 七一四八八  
出張所 札幌 八雲

**株式会社 工ミヤ商会**  
**函館出張所**

函館市豊川町七番二八号  
電話 (26) 三〇二一(代表)  
本社・札幌 支社・東京 営業所・釧路  
出張所 苦小牧

**工事材料・電化製品**

**電設資材・機電綜合卸**

**電設資材総合卸商社**

**株式会社 佐久間電気商会**

取締役社長 佐久間正明

函館市西桔梗町五八九一四九  
電話 (49) 一三一三

**丸晃電気株式会社**

040 函館市松川町三四一一三  
電話 (42) 六二三一

**進和電機株式会社**

函館支店 函館市昭和町一〇四の四  
TEL (43) 四二一  
札幌市白石区菊水南町三丁目一五九  
TEL (41) 一二三一(大代表)  
室蘭 苦小牧 鉄路 带広 小樽